

|            |   |   |
|------------|---|---|
| 算数<br>学習相談 |  | 学研教育情報資料センター<br><br>小 / 算数 / 5年 / 数と計算 / 分母がちがう分数のたし算 / 理解シート |
|------------|---|---|

## 真分数どうして、答えが約分できる計算のしかたを教えて

(真分数+真分数=真分数)



$\frac{1}{4}$  と  $\frac{5}{12}$  を通分して、分母が同じ分数にして、分子だけをたし算するんだよ。答えが約分できるときは、約分しておくんだよ。



下の分数のたし算をしましょう。

①  $\frac{1}{4} + \frac{5}{12} = \frac{3}{12} + \frac{5}{12}$  ・通分する。分母は、4と12の最小公倍数の12。  
 $= \frac{2}{3}$   $\frac{1}{4} = \frac{1 \times 3}{4 \times 3} = \frac{3}{12}$   $\frac{5}{12}$  はそのまま。  
 ・分母はそのまま、分子だけたす。  
 ・12と8の最大公約数の4で約分する。

**大切!** 答えが約分できるときは、約分します。

②  $\frac{1}{2} + \frac{1}{10} = \frac{5}{10} + \frac{1}{10}$  ・通分する。分母は、2と10の最小公倍数の10。  
 $= \frac{3}{5}$   $\frac{1}{2} = \frac{1 \times 5}{2 \times 5} = \frac{5}{10}$   $\frac{1}{10}$  はそのまま。  
 ・分母はそのまま分子だけたす。  
 ・10と6の最大公約数の2で約分する。

③  $\frac{4}{15} + \frac{2}{5} = \frac{4}{15} + \frac{6}{15}$  ・通分する。分母は、15と5の最小公倍数の15。  
 $= \frac{2}{3}$   $\frac{4}{15}$  はそのまま。  $\frac{2}{5} = \frac{2 \times 3}{5 \times 3} = \frac{6}{15}$   
 ・分母はそのまま、分子だけたす。  
 ・15と10の最大公約数の5で約分する。